

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	体育協会運営補助事業 (650102)			担当課	文化・スポーツ振興課		
	開始年度	昭和56(1981)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	森田哲也		
	歳出費目	款)教育費	項)保健体育費	目)保健体育総務費	決算附属資料	258	頁	
	施策の大綱	スポーツ活動の推進			関連計画等	-		
	施策名	スポーツを振興する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	一般財団法人福知山市体育協会の円滑な運営を支援することにより、体育協会が福知山市と協調して市民の幅広いスポーツ活動を支援し、本市のスポーツ行政の推進に資することを目的とする。						
	対象者	(一財)福知山市体育協会	対象者数	1	一人当たりコスト	9,475.00		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	市民の体力向上とスポーツ精神の高揚を図り、生涯スポーツの普及発展に寄与することを目的に設立された(一財)福知山市体育協会への運営補助金						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費		
	負担金補助金及び交付金	事務局運営補助			8,835			
	関連事業							
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算…①	9,300	8,835	8,835	8,835		
		補正予算等…②	0	0	0			
		繰越し等…③	0	0	0			
	財源内訳	一般財源	9,300	8,835	8,835			
		国支出金	0	0	0			
		府支出金	0	0	0			
		地方債	0	0	0			
		その他特財	0	0	0			
		特定財源名称(H29実績)				頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.08/0	0.08/0	0.08/0	/		
概算人件費…④		640	640	640				
総事業費(①+②+③+④)…⑤		9,940	9,475	9,475				
執行状況	執行額…⑥	9,300	8,835					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)	100.0%	100.0%					
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		体協主催事業参加者数	人	1163/2000	1299/2000	/2000	2000	
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
			体協主催事業開催数	回	6/8	6/8	/8	8
			単位あたりコスト		1,550.0	1,472.5		
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	体育協会加盟団体を統括し、市民スポーツの普及・高揚のため、体育協会の果たす役割は大きく、事務局の安定化は重要である
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	体育協会加盟団体ほか、市民スポーツ全般を事業対象としており、コストは妥当と考える。また、平成29年度からは5%の削減を行った。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	体育協会加盟団体が事業効果を発現すべく、本市のスポーツ行政の中心的役割を担っており、その活動は有効である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	本市と共催による福知山マラソンをはじめとした市民参加型のスポーツイベントの実施により、体育協会の果たす役割は大きく、一定の成果を果たせた。		
	今後の課題及び方向性	本市の体育関係団体の統括や、市民スポーツの普及等、体育協会の果たす役割は大なるものがあるが、継続的に発生する運営補助金は課題である。運営補助金から事業補助金への転換など、体育協会事業のあり方を見直して行くことが必要である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	継続して協議を行い、補助事業等のあり方についても検討を進め、最適化する。 【H29棚卸しによる見直し状況】 本市のスポーツを統括する組織としての機能を最大限に発揮するため、協会加盟団体以外も対象とした事業展開について協議を進めてきた。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	スポーツ推進委員会事業 (650103)			担当課	文化・スポーツ振興課		
	開始年度	昭和37(1962)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	森田哲也		
	歳出費目	款)教育費	項)保健体育費	目)保健体育総務費	決算附属資料	258	頁	
	施策の大綱	スポーツ活動の推進			関連計画等	-		
	施策名	スポーツを振興する			根拠法令等	スポーツ基本法		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	スポーツ基本法に基づき委嘱を受けたスポーツ推進委員が、本市のスポーツ振興のために市民の幅広いスポーツ活動の支援や指導・助言のための活動を行う。						
	対象者	全市民	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.06		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 (委託先・実施主体等)						
	事業概要	スポーツ推進委員が主体となって「歩け歩け大会」や「スポーツレクリエーション大会」などの市民参加型の事業を主管するほか、地域への指導者派遣など、市民のスポーツ活動への支援や健康増進のための各種事業を実施している。 ■市民歩け歩け大会(2回/年)、スポーツレクリエーション大会 ■派遣指導(随時)、ノルディックウォーク指導(随時)						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費		
		報酬	スポーツ推進委員報酬			2,063		
旅費		連絡協議会及び研修旅費等			99			
需用費		名札、色上質紙等			45			
使用料及び賃借料		施設使用料等			8			
負担金	京都市スポーツ推進委員連絡協議会負担金等			120				
関連事業	生涯スポーツ推進事業、ノルディックウォークinふくちやま事業							
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①	3,905	3,546	3,472	3,089		
		補正予算等・・・②	0	45	0			
		繰越し等・・・③	0	0	0			
	財源内訳	一般財源	3,905	3,591	3,472			
		国支出金	0	0	0			
		府支出金	0	0	0			
		地方債	0	0	0			
		その他特財	0	0	0			
		特定財源名称(H29実績)				頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.21/0	0.19/0	0.19/0	/		
		概算人件費・・・④	1,680	1,520	1,520			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		5,585	5,111	4,992				
執行状況	執行額・・・⑥		2,848	2,335				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		72.9%	65.0%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		派遣講習受講者数	人	929/1200	1122/1200	/1200	1500	
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		講師派遣回数	事業	47/50	29/50	/50	50	
			単位あたりコスト	60.6	80.5			
		広報誌発行回数	回	2/2	2/2	/2	2	
	単位あたりコスト	1,424.0	1,167.5					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	市民からのスポーツ指導派遣依頼も多く、障がい者の水泳指導など社会的意義の高い講座もあり、優先度は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	スポーツに関する基礎的・専門的な知識のある推進員の指導を受ける事業として効率的である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	市民のスポーツ活動の入口として、市民も取り組みやすく有効性は高い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	参加者や、派遣指導が固定化しつつあり、更なる市民への認知度を高めるため、スポーツ推進委員の取り組み状況やニュースポーツを紹介する広報誌等の発行も新たに行い、市民への周知に取り組んでいるところである。本市のスポーツ推進に係る体制の整備という設置目的から見て、受講者数を成果指標として市民の関心を図ることは適正である。		
	今後の課題及び方向性	スポーツ基本法に則った法定事業であり、継続実施する。スポーツに対する市民ニーズの多様化や、数多く生まれるニュースポーツなど、ニーズに的確に対応した活動を引き続き実施する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	多様化する市民ニーズに対応した事業に継続して取り組んで行く。 【H29棚卸しによる見直し状況】 月1回の定例会時には、ニュースポーツの実技研修を拡充し資質向上に努めるとともに広報誌も充実し、市民のスポーツへの関心を高める取り組みを進めた。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	スポーツ少年団育成事業 (650104)			担当課	文化・スポーツ振興課		
	開始年度	昭和42(1967)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	森田哲也		
	歳出費目	款)教育費	項)保健体育費	目)保健体育総務費	決算附属資料	258	頁	
	施策の大綱	スポーツ活動の推進			関連計画等	-		
	施策名	スポーツを振興する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	スポーツ少年団活動を通じた団相互・団員相互の交流が深められ、少年スポーツの振興と青少年の健全育成を図るとともに、誰もが参加しやすい居場所づくりと、スポーツを通じた地域と家庭が支えあう関係づくりに繋げることを目的とする。						
	対象者	スポーツ少年団員	対象者数	678	一人当たりコスト	1.11		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 (委託先・実施主体等)						
	事業概要	スポーツ少年団登録団体への育成補助金並び少年団活動の支援、主催共催事業を実施し、少年団活動を活発化させる。						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		旅費		普通旅費			14	
負担金補助金及び交付金		スポーツ少年団育成補助金			141			
関連事業	生涯スポーツ推進事業							
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算…①	182	190	190	172		
		補正予算等…②	△8	0	0			
		繰越し等…③	0	0	0			
	財源内訳	一般財源	0	0	0			
		国支出金	0	0	0			
		府支出金	0	0	0			
		地方債	0	0	0			
		その他特財	174	190	190			
		特定財源名称(H29実績)				頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.41/0	0.07/0	0.07/0	/		
		概算人件費…④	3,280	560	560			
	総事業費(①+②+③+④)…⑤		3,454	750	750			
執行状況	執行額…⑥		168	155				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		96.6%	81.6%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		団員数	人	696/860	678/860	/860	860	
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		助成単位回数	団	33/37	32/37	/37	37	
		単位あたりコスト		5.1	4.8			
		広報誌の発行	回	1/1	1/1	/1	1	
単位あたりコスト		168.0	155.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	日本スポーツ少年団、京都府スポーツ少年団の下部組織に位置し、スポーツを通じた青少年の健全育成など実績も大きく、必要性は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	少年団活動は、登録料を主として運営されており、登録各団においても、会費等により自主的に活動されており、効率性は高い。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	少子化により、団員の増加は厳しい現状にはあるものの、少年スポーツの普及や青少年の健全育成への有効性は高い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	広報誌の発行や、交流大会の開催により加盟団体以外にも参加を呼びかける機会を設けて、拡充を図っている。		
今後の課題及び方向性	スポーツの多様化や少子化により団員数や登録団は減少傾向にあるとともに、指導者養成も重要な課題であるが、スポーツ少年団の認知度を高める取り組みなどを実施し、単位団相互の交流などのコミュニティ活動を活性化させ、スポーツ少年団活動をより促進することが重要である。			
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	少年団活動の支援と少年団の普及を促進する。また、少年団事業のあり方について、平成31年度中に検討を行う。 【H29棚卸しによる見直し状況】 団員以外も参加が可能な交流会の実施や市内全小学生を対象とした広報誌の発行などスポーツ少年団の周知に努めた。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	生涯スポーツ推進事業 (650105)			担当課	文化・スポーツ振興課	
	開始年度	平成16(2004)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	森田哲也	
	歳出費目	款) 教育費	項) 保健体育費	目) 保健体育総務費	決算附属資料	258	頁
	施策の大綱	スポーツ活動の推進			関連計画等	-	
	施策名	スポーツを振興する			根拠法令等	-	
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	生涯スポーツ社会の実現に向け、スポーツ教室の開催など、児童生徒から高齢者まで幅広くスポーツに親しむ機会を提供し、市民の多様なスポーツニーズに対応したスポーツの振興を図ることを目的とする。					
	対象者	全市民	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.07	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 (委託先・実施主体等) 一般財団法人福知山市体育協会					
	事業概要	体育協会加盟団体等と連携したスポーツ教室の実施や、ニュースポーツ用品の貸し出しなど市民のスポーツ実施機会の提供と充実を図る。 ■スポーツ教室実施種目(キンボール、ソフトボール、ラグビー、バスケットボール、バレーボール、ターゲット・バードゴルフ、少林寺拳法、柔道、剣道、合気道、空手道) ■ニュースポーツ用品貸出(コップインゴルフ、グラウンド・ゴルフ、ペタンク 他)					
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費	
		賃金	臨時職員2名			2,607	
旅費		普通旅費			9		
需用費		消耗品等			192		
役務費		通信運搬費等			378		
委託料 他	委託料107、使用料及び賃借料427、負担金補助及び交付金481			1,015			
関連事業	スポーツ推進委員会事業、スポーツ少年団育成事業						
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①	4,165	4,088	4,068	4,179	
		補正予算等・・・②	45	228	0		
		繰越し等・・・③	0	0	0		
	財源内訳	一般財源	3,507	3,804	3,556		
		国支出金	0	0	0		
		府支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		その他特財	703	512	512		
		特定財源名称(H29実績)	生涯スポーツ推進事業基金繰入	400	ふるさと創生事業基金	38	頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.32/0	0.19/0	0.19/0	/	
		概算人件費・・・④	2,560	1,520	1,520		
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		6,770	5,836	5,588			
執行状況	執行額・・・⑥		4,121	4,201			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		97.9%	97.3%			
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		スポーツ教室受講者数	人	593/500	547/500	/500	500
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		スポーツ教室数	教室	16/16	16/16	/16	16
		単位あたりコスト		257.6	262.6		
		単位あたりコスト					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	スポーツに対する市民ニーズも多様化しており、市民ニーズも高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	スポーツ用品の貸し出しやスポーツ教室の開催など、市民が気軽に参加するための費用として妥当と考える。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	受講者数も目標数を達成しており、教室数も一定維持されている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	スポーツ教室の実施やスポーツ用品の貸出等、市民のスポーツ実施機会を提供することができた。また、参加者数からも市民のスポーツへの関心は高まっているものとする。		
	今後の課題及び方向性	アンケート調査も実施し、より市民ニーズに即した教室等を実施し、スポーツを「する」機会を創出して行くことが必要である。 また、スポーツ推進委員事業やスポーツ少年団育成事業とも連携して、本市の生涯スポーツ振興を図ることが必要である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>現在策定中の「福知山市スポーツ推進計画」を柱として「する」「見る」「支える」スポーツの施策を展開するための取り組みを進める。</p>	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	四都市体育大会事業		650107	担当課	文化・スポーツ振興課		
	開始年度	昭和23(1948)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	森田哲也		
	歳出費目	款)教育費	項)保健体育費	目)保健体育総務費	決算附属資料	258・260	頁	
	施策の大綱	スポーツ活動の推進			関連計画等	-		
	施策名	スポーツを振興する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	四都市体育大会は、広く市民の間にスポーツを普及し、健康増進と体力の向上をはかり、スポーツを通じて、両丹地方相互の友好並びに親睦を図ることを目的とする。(四都市体育大会趣旨) 平成30年度第66回						
	対象者	体育協会員	対象者数	630	一人当たりコスト	7.64		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 (委託先・実施主体等) 京都ユニオンサービス株式会社、日本交通株式会社						
	事業概要	北部四市(福知山市、綾部市、舞鶴市、宮津市)の体育・スポーツ協会所属の団体・競技者による競技会の実施。競技会は、年次で実施し、冬季大会(スキー種目)・春季大会(陸上競技等 18競技22種目)の各競技の結果により、四市の総合順位を決定する。						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費		
		報償費	表彰レプリカ作製			53		
旅費		普通旅費			92			
需用費		大会プログラム			50			
委託料		選手輸送用バス借上及び運転代行業務			107			
使用料及び賃借料 他	使用料及び賃借料167、負担金補助及び交付金494			660				
関連事業								
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①	801	1,150	981	879		
		補正予算等・・・②	0	△ 15	0			
		繰越し等・・・③	0	0	0			
	財源内訳	一般財源	801	1,135	981			
		国支出金	0	0	0			
		府支出金	0	0	0			
		地方債	0	0	0			
		その他特財	0	0	0			
		特定財源名称(H29実績)				頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.13/0	0.46/0	0.46/0	/		
概算人件費・・・④		1,040	3,680	3,680				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		1,841	4,815	4,661				
執行状況	執行額・・・⑥		647	962				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		80.8%	84.8%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		実施競技数	競技	19/19	19/19	/19	22	
		総合順位	位	1/4	2/4	/4	1	
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		実施競技数	競技	19/19	19/19	/19	22	
		大会開催回数	回	1/1	1/1	/1	1	
単位あたりコスト		34.1	50.6					
単位あたりコスト		647.0	962.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	四市のスポーツを通じた交流として、各市に定着し、歴史・実績を積み重ねており、市民注目度も高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	運営の効率化や実施体制について、四市による協議が必要。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	北部四市におけるスポーツ振興・競技力向上において、十分な実績を果たしている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	北部四市におけるスポーツ振興・競技力向上と四市の親睦を図る大会として、歴史を積みかさね競技者のみならず市民にも定着しており、十分な実績を果たしている。	
	今後の課題及び方向性	長年の実施により定例化しているが、国体予選など他大会も同時期に開催されているため、選手確保が困難な競技もあり、実施競技・分散開催も含めた実施時期や会場等、現在の状況に応じた見直し等の検討が必要である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期や方法について、4市協議をしていくということで、しっかりと協議をしより効率的で効果的な運営を行っていただきたい。 ・(通年)と(当番市)用に事業を分割しなくてもよいのではないか。 ・他市で参加が見送られている実施競技等の見直しをお願いします。 ・選手の確保、施設の老朽化、国際イベントとの兼ね合い等課題もある中、より市民のニーズに合い、他市とスポーツを通じた交流が発展できるよう実施方法や形態等を検討してみてもいい。 ・定例化しており、実施協議等の現状にあった見直しが必要 ・継続していて、四市での共催とのことで、スポーツを通じての交流親睦はわかるが、選手の確保や運営の問題etc、担当課として課題を抱えておられるようなので、実施方法について協議をすすめられたい 		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし 	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p style="text-align: center;">予算額の反映状況(対H30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充 	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<p style="text-align: center;">四市の保有施設の有効活用や大会の分散開催など、より効率的な大会運営やあり方について、四市並びに四市体育・スポーツ協会と協議・検討を進める。</p>		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	福知山マラソン大会支援事業 (650109)			担当課	文化・スポーツ振興課		
	開始年度	平成3(1991)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	森田哲也		
	歳出費目	款) 教育費	項) 保健体育費	目) 保健体育総務費	決算附属資料	260	頁	
	施策の大綱	スポーツ活動の推進			関連計画等	-		
	施策名	スポーツを振興する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	大規模スポーツイベントの実施によって地域活性化を図るため、全国有数の歴史・実績・規模を誇る福知山マラソン大会を実施する。 多数の市内外からの参加者を募り、大会を通じた消費動向を活性化するとともに、今後の商観光の発展に寄与する。						
	対象者	マラソン大会参加者	対象者数	11,700	一人当たりコスト	2.38		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (委託先・実施主体等) 福知山マラソン実行委員会						
	事業概要	フルマラソン10,000人、サブ種目(10km、ファンラン)1700人の参加者を募り、三段池公園をスタート・フィニッシュとした福知山マラソン(日本陸連公認大会)の実施にかかる支援として、実施主体である福知山マラソン実行委員会に対して交付金を交付する。						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費		
	負担金補助及び交付金	福知山マラソン交付金			20,000			
	関連事業							
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①	12,000	12,000	12,000	12,000		
		補正予算等・・・②	0	8,000	0			
		繰越し等・・・③	0	0	0			
	財源内訳	一般財源	12,000	8,000	5,600			
		国支出金	0	0	0			
		府支出金	0	0	0			
		地方債	0	0	0			
		その他特財	0	12,000	6,400			
		特定財源名称(H29実績)	福知山マラソン大会支援事業基金繰入		5,600	ふるさと創生事業基金	38 頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	1.1/0	0.98/0	0.98/0	/		
概算人件費・・・④		8,800	7,840	7,840				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		20,800	27,840	19,840				
執行状況	執行額・・・⑥		12,000	20,000				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	100.0%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		参加者申込人数	人	11097/11700	10270/11700	/11700	11700	
		RUNET大会レポート評価点	点	73.2/100	86.3/100	/100	100	
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		事務局会議開催回数	回	8/12	10/12	/12	12	
		単位あたりコスト		1,500.0	2,000.0			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	全国有数のフルマラソン大会として、内外に認知されており、他のイベントによる代替はできない。開催に係る許認可や医療・救急体制など安全性の確保の面で、民間事業者単独による実施はできない。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	参加料は全国平均を見ても妥当なレベルである。現在の人員体制では、現況の実施方法の大幅な変更は考えられない。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	多様な参加者ニーズにも対応するため、他大会の情報収集の積極的に行っている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	京都府北部地域最大のイベントとして、また、全国有数のマラソン大会として内外で認知されており、大会運営においては堅実に実績を積み重ねている。	
	今後の課題及び方向性	全国的にマラソン大会は増加の傾向にある。地方大会として大規模大会や都市型マラソンと競合していくためには、地域の特色を活かした大会運営をしていくことが必要である。市民参加型のマラソン大会として、地域と一体となり、質の高い大会運営により参加者を確保し、地域活性化を図って行くことが必要である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	市民参加型たのマラソン大会として、より多くの参加者確保に向けた取り組みを随時行い、市民スポーツの普及と地域活力の向上を促進する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	スポーツ振興事業 (650111)			担当課	文化・スポーツ振興課	
	開始年度	平成18(2006)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	森田哲也	
	歳出費目	款)教育費	項)保健体育費	目)保健体育総務費	決算附属資料	260	頁
	施策の大綱	スポーツ活動の推進			関連計画等	-	
	施策名	スポーツを振興する			根拠法令等	-	
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	全国規模の大会等を誘致し、市民のスポーツへの関心を高めるとともに、市民を対象とする各種競技会の開催により競技力の向上等による市民のスポーツへの関心を高め、市民スポーツの振興を図ることを目的とする。					
	対象者	全市民	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.05	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 (委託先・実施主体等) 日本ペタンク・プール協会他					
	事業概要	■ 体育協会等との共催事業開催のための負担金(全町内対抗ソフトボール大会50千円、全関西ソフトテニス大会55千円、全関西卓球大会55千円、市民スキー教室・スキー大会27千円、市民駅伝大会95千円、市民オリエンテーリング大会28千円、京都府民総合体育大会760千円) ■ 本市で開催する全国規模の大会、西日本や近畿規模の大会の運営支援のための補助金。(全国大会:300千円、近畿大会:200千円)					
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費	
	負担金補助金及び交付金	ペタンクジャパンオープン開催補助金等			2,342		
関連事業	国際大会等誘致事業						
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①	2,500	3,170	2,970	3,070	
		補正予算等・・・②	0	0	0		
		繰越し等・・・③	0	0	0		
	財源内訳	一般財源	0	1,070	1,070		
		国支出金	0	0	0		
		府支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		その他特財	2,500	2,100	1,900		
		特定財源名称(H29実績)	全国大会等開催補助金交付事業繰入		1,300	ふるさと創生事業基金	38
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.08/0	0.11/0	0.11/0	/	
		概算人件費・・・④	640	880	880		
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		3,140	4,050	3,850			
執行状況	執行額・・・⑥		1,600	2,342			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		64.0%	73.9%			
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		大会参加選手・役員数	人	2556/1000	2380/1000	/1000	1000
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		補助対象大会数	回	7/10	5/10	/10	10
		単位あたりコスト		228.6	468.4		
		主催事業大会数	回	6/8	6/8	/8	8
単位あたりコスト		266.7	390.3				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	大規模大会の誘致による競技レベルの向上にも寄与しており、市内で開催する意義は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	大会規模に合わせて補助額を定めるなかで、大会運営は競技協会が実施するため効率性も高い。また、各地より選手が参加することによる経済効果も見込まれる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	全国大会の誘致に対するインセンティブとして有効性は高い。また、体育協会共催事業においては、競技協会が主管することにより組織力の強化にも寄与するものである。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	2020全国高校総体(ソフトテニス)、ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催も決定し、全国規模の大会誘致による市民のスポーツへの関心の高まりに効果がある。 今後も引き続き、大会誘致を進めて行くものとする。	
	今後の課題及び方向性	誘致に成功した全国大会等については、継続的に本市で開催できる受け入れ体制の整備が必要である。 ハイレベルな競技を本市で実施することにより、市民のスポーツへの関心を深めることに加え、全国大会等に出場することのできるトップアスリートの育成や指導者の養成も課題である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	近畿・全国規模の継続的な開催のため、必要な支援を行うことにより、本市スポーツの振興と競技力の向上を促進する取り組みを進める。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	スポーツ賞表彰事業			650131	担当課	文化・スポーツ振興課		
	開始年度	昭和46(1971)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	森田哲也			
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 体育振興費	決算附属資料	96	頁		
	施策の大綱	スポーツ活動の推進			関連計画等	-			
	施策名	スポーツを振興する			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	全国大会等で優秀な成績を収めたものを顕彰し、競技スポーツにおける榮譽を称えることで選手の競技意欲を高め、更なる競技力の向上と本市のスポーツ振興を図ることを目的とする。							
	対象者	全市民	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.01			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 (委託先・実施主体等)							
	事業概要	福知山市スポーツ賞基金条例及び福知山市スポーツ賞に関する規則に基づき、運動競技で優秀な成績を収めた者(日本記録を樹立した者、又は全国競技会で優勝し表彰に値すると認められる者)を表彰する。							
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		委員報酬		スポーツ賞選考委員報酬			5		
報償費		受賞者贈呈楯			75				
消耗品費		賞状用紙			19				
役務費		賞状筆耕料			27				
関連事業									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		327	290	280	214		
		補正予算等・・・②		0	0	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		0	0	0			
		国支出金		0	0	0			
		府支出金		0	0	0			
		地方債		0	0	0			
		その他特財		327	290	280			
		特定財源名称(H29実績)	スポーツ賞基金繰入金			89	基金繰入金	34	頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.05/0	0.06/0	0.06/0	/		
概算人件費・・・④		400	480	480					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			727	770	760				
執行状況	執行額・・・⑥		75	126					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		22.9%	43.4%					
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		受賞者数	人	5/5	9/5	/5	5		
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		候補者照会先	団体	20/20	20/20	/20	20		
		単位あたりコスト		3.8	6.3				
		単位あたりコスト							

		項 目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	全国大会優勝または日本記録樹立という栄誉は他に代えがたいものであり、市が表彰することに意義がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	他に代え難い栄誉に対する表彰として、一定の品質・格式が求められ、現在の水準は妥当である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	表彰対象を高水準とすることにより、賞の価値を高め、競技者の意欲向上に有効である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	全国大会優勝又は日本記録樹立という高いレベルの表彰水準により賞の価値を維持しており、栄誉ある賞として競技者に認知され、競技意欲の向上に結びついている。	
	今後の課題及び方向性	スポーツ概念の変化に伴い、大会形式や内容・実施主体等も多種多様化しており、現在の選考水準を維持したうえで、表彰基準(対象大会・規模・種目等)の検討が必要である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内規の(1)の(Ⅰ)「その他選考委員会が認める大会」に該当する大会として考えられるものは何か？ ・その検討を進めるのにふさわしい選考委員の構成となっているか？パラスポーツ、ニュースポーツ等の大会実施の現状を踏まえて検討できるメンバーに再編を ・財源確保のあり方について、早急に検討を進めること ・選考委員会の見直しを ・今すぐではないが、10数年後には、基金がなくなると予想されるので、そのときについて検討の準備をお願いしたい 		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし 	<p style="font-size: 1.2em;">選考方法や選考対象の見直しも検討し引き続き実施する。</p>	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p style="text-align: center;">予算額の反映状況(対H30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充 	<p style="text-align: center;">担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	スポーツ推進計画策定事業			650135	担当課	文化・スポーツ振興課		
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	平成30(2018)	作成責任者	森田哲也			
	歳出費目	款)教育費	項)保健体育費	目)保健体育総務費	決算附属資料	260	頁		
	施策の大綱	スポーツ活動の推進			関連計画等	-			
	施策名	スポーツを振興する			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	スポーツに関する社会的なニーズも多様化する中、年齢や性別、障害の有無等を問わず、広く市民がその適正に応じたスポーツ活動に参加し、心身の健全な発達や健康及び体力の増進を図るとともに、スポーツによる地域間交流やスポーツ観光を推進することを目的とする。							
	対象者	全市民	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.07			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 (委託先・実施主体等) 株式会社地域社会研究所							
	事業概要	スポーツ基本法第10条に基づき、市民意識調査や庁内プロジェクトチームにおいて、本市のスポーツ振興やスポーツ施設のあり方等について検討し、本市のスポーツビジョンとなる計画を策定する。							
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目	具体的な内容				H29経費		
		報償費	意見聴取会議委員報酬				120		
旅費		委員面会旅費				138			
委託料		市民意識調査				904			
役務費						2			
使用料及び賃借料					4				
関連事業									
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①	0	1,509	845	0			
		補正予算等・・・②	0	△ 69	0				
		繰越し等・・・③	0	0	0				
	財源内訳	一般財源	0	0	0				
		国支出金	0	0	0				
		府支出金	0	0	0				
		地方債	0	0	0				
		その他特財	0	1,440	845				
		特定財源名称(H29実績)	スポーツ推進計画策定事業基金繰入		968	ふるさと創生事業基金	38	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0/0	0.5/0	0.5/0	/			
	概算人件費・・・④	0	4,000	4,000					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		0	5,440	4,845					
執行状況	執行額・・・⑥		0	1,168					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		0.0%	81.1%					
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		計画策定		/	/	/	1		
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		意見聴取会議開催回数	事業	/	1/2	/3	5		
		単位あたりコスト		0.0	1,168.0				
		単位あたりコスト		/	/	/			
	単位あたりコスト		0.0	0.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	本市のスポーツ振興やスポーツ施設のあり方の方向性を決める計画であり、優先度は高い
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	計画策定にかかるコストは市民意識調査の実施に伴うコンサル委託料が主であり、最低限度のものであり、妥当である
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	スポーツの振興と施設のあり方などもの方向性を定める重要な計画である
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	市民意識調査、市民有識者を交えた意見聴取会等の開催により、平成30年度中の策定に向け検討を進めているところである。	
	今後の課題及び方向性	計画策定後において、計画に基づいたスポーツ振興や施設運営が図れるような予算措置や体制整備が必要である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p>所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査の外注化をせず、内部化でコストを押さえたことだけでなく、直接市民の声を聞いていこうというスタンスをこれからも続けていく姿に期待 ・アウトプットにアンケート回収率 ・アンケートの取り方に工夫必要、スポーツ施設を利用している方の意見も聞く(指定管理者の管理の一部である) ・平成30年度での策定に向けて、計画的に進めていただきたい ・基本的な計画なので、大局に立ち、将来を見据えた内容で策定していただくため、市民の意見も取り入れながらも、福知山市の意向(方向性・あるべき姿)を持ち合わせた上で、取り組んで頂きたい ・策定後、成果実績が測れる目標を盛り込んで頂きたい 		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p>方針区分</p> <p>内 容</p> <p>平成30年度で推進計画は策定完了。 平成31年度に障害スポーツ推進事業で印刷費のみ計上予定。</p>		
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p>予算額の反映状況(対H30)</p> <p>担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>		
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	ノルディック・ウォークinふくちやま事業		650145	担当課	文化・スポーツ振興課		
	開始年度	平成26(2014)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	森田哲也		
	歳出費目	款) 教育費	項) 保健体育費	目) 保健体育総務費	決算付属資料		頁	
	施策の大綱	スポーツ活動の推進			関連計画等	-		
	施策名	スポーツを振興する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	ノルディック・ウォークの普及を通して、生活習慣病予防やリハビリテーション、介護状態の予防など、市民の健康増進に寄与する						
	対象者	全市民	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.00		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	ノルディック・ウォークの普及体験会を実施し、ボールのレンタルも含めて市民が気軽に体験できる機会を提供する。スポーツ推進委員に対する指導者養成講座を実施し、スポーツ推進委員の派遣事業により市民に普及する。						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
関連事業	スポーツ推進委員会事業、生涯スポーツ推進事業							
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		260	200	0	0	
		補正予算等・・・②		0	△ 130	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		130	70	0		
		国支出金		0	0	0		
		府支出金		0	0	0		
		地方債		0	0	0		
		その他特財		130	0	0		
		特定財源名称(H29実績)					頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.13/0	0.02/0	0/0	/	
		概算人件費・・・④		1,040	160	0		
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			1,300	230	0			
執行状況	執行額・・・⑥		159	0				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		61.2%	0.0%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		参加者数	人	152/200	15/22	/		
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		開催回数	事業	2/2	1/2	/		
		単位あたりコスト		159.0	0.0			
		単位あたりコスト						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	スポーツを通じた体力の保持・健康の保持は、市民ニーズや必要性も高い。基礎的指導を行うことで、市民自らも実施できるスポーツである。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	スポーツ推進委員が指導者となることで、より多くの市民や団体への派遣指導が可能となり、効率性は高い。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	基礎的な指導を行えば、簡単に実施できるスポーツであり、スポーツによる市民の健康サポートの観点からは有効性は高い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	市民のノルディック・ウォークに対するニーズが変化し、地域ごとでの実践が主流となってきた。そのため、スポーツ推進委員による地域ごとでの普及体験を主とするためスポーツ推進委員に対して、外部講師による講習会を実施し、「指導者の育成」に取り組んだ。指導者を育成することにより、より市民への普及促進に向けた環境整備ができた。	
	今後の課題及び方向性	平成29年度の指導者育成を踏まえて、スポーツ推進委員会事業において、ノルディック・ウォークの普及促進に努め、市民のスポーツによる健康サポートを継続していく。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の展開としては、市民向けの普及を行い、指導者向けの指導を行ってH30年度はその指導者による普及ということで「予算計上なし」となっており、よいパターンだと思うが、今後どのように普及をしていくのが重要である。 ・生活習慣予防や介護予防の観点もあるので、健康医療課等と連携をしてさらに普及していくような工夫・PRをしていただきたい。 ・各年度で現状からニーズを捉え、事業の方向性を変えられ、普及啓発がうまく認知につながった事業なのだと感じました。今後は、この認知度、普及度が衰えないような啓発・高法・活動を様々な他事業の中で続けられたら良いのかなと思いました。 ・育成されたスポーツ推進員が老人クラブ等の団体で活動できれば、健康づくり、介護予防分野との連携ができる可能性もあり、検討の余地がある。 ・今後はスポーツ推進委員の協力の下、講師派遣というかたちで健康増進に寄与していただきたいと思います。 ・普及に向けて、計画的に進められておりH30～も事業統合により、効率的に、行われているので何も問題はない。引き続き、普及に向けて取り組みたい。 		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <p style="text-align: center;">内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし 	<p>事業目的も達成し、平成29年度で事業終了。今後は、スポーツ推進委員による派遣講座等も積極的に行い、スポーツ推進委員会事業を通じて引き続き普及・啓発に努める。</p>	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p>予算額の反映状況(対H30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充 	<p>担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	SEA TO SUMMIT事業		650147	担当課	文化・スポーツ振興課	
	開始年度	平成27(2015)	終了予定年度	平成30(2018)	作成責任者	森田哲也	
	歳出費目	款)教育費	項)保健体育費	目)保健体育総務費	決算附属資料	260	頁
	施策の大綱	スポーツ活動の推進			関連計画等	-	
	施策名	スポーツを振興する			根拠法令等	-	
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	京都府提案事業として、カヌー・自転車・山登りによる、海から山への移動手段そのものを楽しむ環境イベントを民間主導の運営で開催し、中丹地域圏域の周遊観光の促進を図ることを目的とする。					
	対象者	参加者	対象者数	113	一人当たりコスト	12.56	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (委託先・実施主体等)					
	事業概要	京都府・福知山市・舞鶴市・綾部市の4者が負担金を拠出し事業を実施する。 各市の特色を活かし、カヤック、バイク、ハイクを実施 舞鶴(カヤック)⇒大江山グリーンロッジ(自転車)⇒大江山山頂(ハイク)の実施					
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容		H29経費	
		負担金補助金及び交付金		負担金		748	
需用費		参加者記念品		14			
関連事業							
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求
	事業費	当初予算・・・①		740	783	783	0
		補正予算等・・・②		0	△4	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	
	財源内訳	一般財源		370	388	392	
		国支出金		370	391	391	
		府支出金		0	0	0	
		地方債		0	0	0	
		その他特財		0	0	0	
		特定財源名称(H29実績)	SEA TO SUMMIT(地方創生推進)			381	国補助金
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.11/0	0.08/0	0.08/0	/
概算人件費・・・④		880	640	640			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			1,620	1,419	1,423		
執行状況	執行額・・・⑥		740	762			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	97.8%			
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		参加者数	人	146/150	113/180	/180	180
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		開催回数	回	1/1	1/1	/1	1
		単位あたりコスト		740.0	762.0		
		単位あたりコスト					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	中丹圏域において広域に実施するため、行政間の連携し実施することが必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	参加者からは応分の参加料(10,000円)も徴収しており、大会運営のコスト負担は妥当と考える
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	参加者には好評であるが、本市に与える経済効果等の分析が必要である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	中丹各市における経済効果などの数値が不明であり、その効果の検証が必要である。		
	今後の課題及び方向性	本市での開催のメリット等も検討し、今後の開催に向けた検討が必要である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府、舞鶴市、綾部市とも協議をし、福知山市にもメリットがあるような事業となるように検討してほしい。 ・目的がスポーツではなく観光に重点を置くのであれば、産業観光課の視点をいれてPRや他事業との効果的な実施を検討してもよいのではないか。 ・他市と合同実施であるため協力を得ながら何か事業が実施できないか検討してみてもは。 ・観光の視点で福知山をPRできる手法が協議を重ねて実現できたらいいのかなと思いました。今後、ゆくゆくは民間企業の協力を更にて、委ねていけたらよいのかなと考えます。 ・客がほとんどいないにも関わらずマルシェが開かれており、今後の開催内容について検討が必要。 ・行政主導であっても、効果に見合った負担などについて検討いただきたいと思います 		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし 	<p style="text-align: center;">内 容</p> <p>4カ年の実施により一定の成果も得られたため、スポーツ振興事業としては廃止し、事業の一部を産業観光課へ移管し実施する。</p>	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p style="text-align: center;">予算額の反映状況(対H30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 	<p style="text-align: center;">担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	国際大会等誘致事業		650150	担当課	文化・スポーツ振興課	
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	森田哲也	
	歳出費目	款)教育費	項)保健体育費	目)保健体育総務費	決算附属資料	260	頁
	施策の大綱	スポーツ活動の推進			関連計画等	-	
	施策名	スポーツを振興する			根拠法令等	-	
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	全国規模のスポーツ大会や、国際大会等を誘致し、全国・世界規模でのスポーツ交流・スポーツ観光を推進する。また、H32インターハイ(ソフトテニス)やWMG2021関西大会の開催成功に向け、準備体制の強化を図り、受入れ態勢を整える					
	対象者	全市民	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.03	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 (委託先・実施主体等) 近畿日本ツーリスト株式会社					
	事業概要	平成29年度には、ワールドマスターズ(オークランド)、全国高校総体(インターハイ:福島県)の視察を実施した。					
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費	
		旅費	インターハイ視察等			176	
委託料		WMGオークランド大会視察に係る委託料等			338		
需用費		燃料費			2		
使用料及び賃借料		自動車借上料			28		
関連事業	スポーツ振興事業						
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算...①	0	954	0	0	
		補正予算等...②	0	△ 25	0		
		繰越し等...③	0	0	0		
	財源内訳	一般財源	0	0	0		
		国支出金	0	0	0		
		府支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		その他特財	0	929	0		
		特定財源名称(H29実績)	国際大会等誘致事業基金繰入		527	基金繰入金	36
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0/0	0.16/0	0/0	/	
		概算人件費...④	0	1,280	0		
総事業費(①+②+③+④)...⑤		0	2,209	0			
執行状況	執行額...⑥		0	544			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		0.0%	58.6%			
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		誘致大会数	大会	/	2/3	/	3
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		関係機関協議・依頼回数	回	/	3/3	/	
		単位あたりコスト		0.0	181.3		
		単位あたりコスト					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	市民のスポーツへの関心や興味を深めるため、大規模大会の開催は、効果的であり必要であり、行政が中心となって、民間団体等との連携のもと実施していくことが必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	行政と競技協会などの協働と役割分担により、効率性の高い事業の実施が見込まれる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	本市市民のスポーツを通じた交流や、市外からのスポーツ観光も図ることができ、その有効性は高い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	平成32年インターハイ(ソフトテニス)の開催が福知山市で決定し。全日本実業団ソフトテニス選手権大会や全日本シニアソフトテニス選手権大会など、順調に誘致が成功しており、一定の成果があった。	
	今後の課題及び方向性	誘致後の大会成功と大会開催による市民の「みる」「する」「支える」スポーツへの参画を促進していくための取り組みを進めて行く。 平成30年度からは国際大会開催準備事業に事業名を変更し、大会成功に向け、京都府等の関係団体との連携強化を図る。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本来の目的は何か？競技力の向上か、競技認知の向上か、経済効果か、市のイメージアップか → これをはっきりさせて、事業を構築すること ・大会誘致が目的化してはいけない ・誘致ができたので、国際大会成功に向けて、事業目的を整理して進められたい 		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし 	<p style="text-align: center;">内 容</p> <p>本事業の目的は達成できたので、大会誘致による競技認知度の向上や経済効果に加え持続的な開催による競技団体の育成と競技力の向上を図るため、平成30年度より「国際大会開催準備事業」に組み替え継続実施している。</p>	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p style="text-align: center;">予算額の反映状況(対H30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充 	<p style="text-align: center;">担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>	